

提案名	「近くの山の木で家をつくる会」 ・BeV Standard 超長期住宅モデルプロジェクト	部 門	住宅の新築
提案者	町の工務店ネット	種 別	システム提案
構 造	木造(在来軸組)	建て方	一戸建ての住宅
概 要	多数の地域の工務店等と全国の林産地の森林組合・業者のグループによる国産材を活用した多項目にわたる提案。		

■概 評

多くの部位で耐久性への対策を行うことのほか、中小工務店と連携する木材業者が相互に継続的な技術力の向上を図る取組みを評価した。

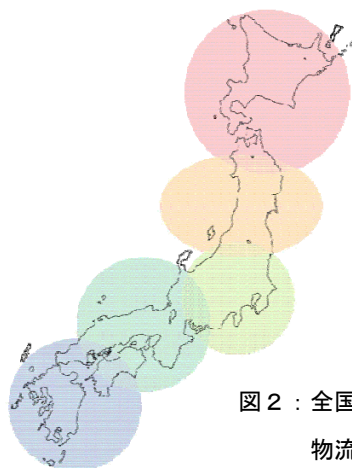
■提案の基本的考え方

【近くの山の木で家をつくる会】

主要構造材を国産のD1樹種に定め、スギの場合、樹齢50～70年以上の赤身の乾燥材を使用することを前提に「町の工務店ネット」が全国から選定した「木材産地」との共同で、地域毎に原則として、「木材の地産地消」と、その安定供給の実現を目標に、全国規模で「超長期住宅」の普及を図ります。地域の中小事業者を中心に全国規模で展開してきた「近くの山の木で家をつくる運動」を継承し、超長期住宅の仕様を標準仕様とすることで、「あたらしい民家」を創造し良質な住宅ストックの維持保全に寄与することを意図しました。中小事業者が得意とする在来木造軸組み工法の構造用壁下地材に「ケナボードS」を採用することによって、地域の中小事業者が無理なく取り組むことのできる超長期住宅先導モデルを策定しました。

【BeV Standard 超長期モデルプロジェクト】

地域材の地域プレカットで、国産材の地産地消を地域工務店とプレカット工場とともに展開してきた国産材の集成材を使用する「木質軸組パネル工法のシステム住宅」の標準仕様を「超長期住宅」として再編集することにより、高品質な住まいを地域格差のない状態で供給しながら、国産材をラミナー（集成材の材料となる板）で使用することによってその使用率を高めると同時に、良質な住宅ストックとなる「超長期住宅」の普及を図ります。全国を5ブロックに分けて、その核となるプレカット工場から材料を調達することによって、国内林業の活性化を図ります。軸組みは、強度や性能が明確で安定している国産材の集成材で構造計画を行い、床には、国産材の床パネルや構造用合板を用い、剛床仕様の水平構面を確保しながら、実物の試験結果によって確実に強度を担保することができる金物の使用によって、木材を歩留りよく経済的に使うことと、プレカットや建て方時の効率化を図ります。



■提案内容

1. 地産・地消 地域材の持続的な活用

「木材産地」を核とした地域ネットワークによる国産材の全面利用により、林業との共同で地域の活性化を図る。地域の森林の計画伐採と計画植林による安定した木材の供給を図り、超長期住宅としての「現代の民家」が持続可能な形で成立できる環境を整備する。

2. 技術・技能の継承

「町の工務店ネット」と『近くの山の木で家をつくる会』の地域会員は今回の提案に添った材料・工法を活用して地域のその他の工務店、設計業者、部品部材の供給業者でネットワークを形成し、超長期モデル事業の地域への推進を図りながら住宅の質と施工技術の向上と、次世代の職人の育成に努めて超長期住宅の安定供給を図る。

3. 長期間安心して住み続けられる安全快適な住まい

構造フレームの許容応力度計算を全棟実施し、「耐震等級2」以上を基本とする。また、基礎、及び躯体部分の瑕疵保証は第三者機関の保証を受ける。

4. 良好な住環境の保全

全国規模で中小事業者を支援する「町の工務店ネット」では、地域のすぐれた試みを発表し検証する「勉強会」を各地で開催している。この勉強会を通して、地域での「良好な住環境の保全」のための試みを紹介することで、マニュアル化できる事例集を編むことを予定している。「地域建築賞」などの評価によって、先導的試みを全国規模で情報交換ができる場を提供することで、地域格差のない品質確保を目指すとともに、地域の環境に配慮した、これからの「住まいづくり」を先導する。

5. 職能としての「住宅医」の育成

超長期住宅と「いいものをつくってきちんと手入れして長く大切に使う」という考え方を広めて、ストック社会としていくためにも、建物の状態を適切に判断できる職能は不可欠であると考え、全国規模で中小事業者を支援する「町の工務店ネット」では、10年後の「非破壊検査機器」による大規模な点検を地域の中小事業者が行えるように、「住まいのドクター」（住宅医）を育てる構想を描いている。適時適切な維持管理と定期的実施される定期点検（1・6・12・24ヶ月・10年の無料点検）の品質を安定させて、地域格差のないサービスをネットワークとして実現していくために「勉強会」を通して「住宅医」の育成を図る。

■提案者からのコメント

本提案は、「木材の地産地消」と、その安定供給の実現を目標に、全国規模で展開してきた「近くの山の木で家をつくる運動」と、地域材の地域プレカットで、国産材の地産地消を地域工務店とプレカット工場とともに展開してきた国産材の集成材を使用する「木質軸組パネル工法のシステム住宅」の二つの異なる構法を網羅したストック社会に向けたあたらしい家づくりの提案です。既に300棟を超える実績を積み上げてきた既存システムを継承し、あらたに超長期住宅の仕様を策定、それを標準仕様とすることで超長期住宅の普及を図ることを意図しています。

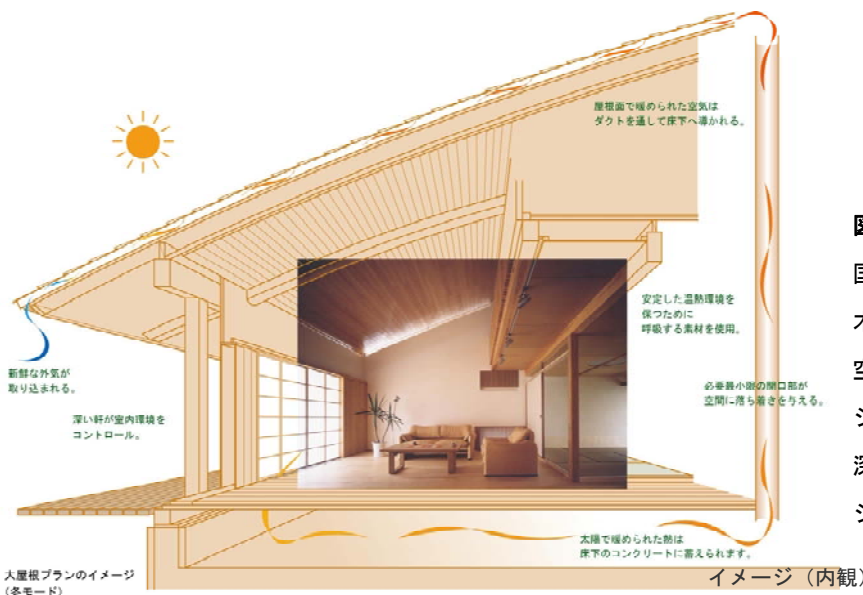


図3：提案住宅のイメージ

国産材使用・自然素材

木材の状態を良好に保つため

空気集熱式パッシブソーラー

システムの導入など

深い庇・現代の民家をイメージ

しています。